

円安を背景に輸出は堅調に推移したが、内需は消費税率の引き上げによる個人消費の落ち込み、公共投資の抑制、相次ぐ金融不安の発生等から低迷状態が続き、景気停滞感が一段と強まっていった。

本会の主要業務活動等

- 4月 環境専門委員会の分科会組織を見直し、下記4テーマについての分科会を編成、それぞれ調査研究にあたる
 ・CO2分科会…地球温暖化対策 ・リサイクル分科会…循環型経済社会の構築 ・環境管理分科会…環境管理マネジメントシステムの構築 ・LCA分科会…ライフサイクルアセスメント
- 〃 第47回総会で、専務理事が今井晋作氏から當間満義氏に交替
- 5月 ISO/TC45国内審議委員会を設置～TC45（ゴムおよびゴム製品）に属する規格別7分科会において、ISO規格の審議、日本側意見の取りまとめに当たるとともに、第45回国際会議（10月、マレーシア・ペナン）に5名の代表を派遣
- 6月 本会相談役（第5代会長）石橋幹一郎氏が死去（30日、77歳）
 〃 IRSG第101回グループミーティング（英国・リバプール）に参加者を派遣
- 12月 ゴム業界における総会屋対策の推進をはかるため、本会内に企業行動協議会を設置（通産省・経団連の要請に対応）～総会屋との絶縁について決議を行うとともに、会員会社に対し総会屋対策の徹底につき協力を要請
- ☆ 次の海外からの来訪者・ミッションに応接、3月：タイゴムミッション（30名）、4月：タイ農業・協同組合副大臣グリック氏およびゴムミッション（20名）、10月：INRO事務局長ズビール氏

ゴム産業関連事項

- 2月 天然ゴムの第3次国際協定が発効
- 4月 日本自動車タイヤ協会がISO/TC31総会を京都で開催
- 10月 ゴム引布・同製品製造業に対する特定雇用調整業種の業種再指定が認可（指定期間11月1日から2年間）
 〃 神戸ゴム取引所と大阪繊維取引所が合併し、新たに大阪商品取引所が発足
 ☆ ゴム関係団体が相次いで創立50周年記念式典を挙行
 4月 東部ゴム工業会
 9月 日本自動車タイヤ協会
 10月 日本ゴムホース工業会
 ☆ 1997年の新車販売台数（除、軽自動車）は511万2,504台（前年比4.9%減）で、4年ぶりに前年水準を割る

政治・経済・社会情勢

- 1月 島根県沖でナホトカ1号が重油流出事故
- 4月 消費税率が3%から5%へ
 〃 ペルー日本大使公邸人質事件、武力行使によって127日目で解決
- 6月 神戸の小学生殺害事件で14歳の中学生逮捕
- 7月 香港155年ぶりに中国へ返還
 〃 アジア通貨危機が発生
- 8月 元英皇太子妃、パリで自動車衝突による事故死
- 11月 証券、金融関連企業の破綻相次ぐ ・北海道拓殖銀行が都銀初の破綻 ・山一証券、自主廃業を決定 ・仙台の徳陽シティ銀行、自主再建を断念
- 12月 韓国の大統領に金大中氏が当選（翌年2月就任）

参考データ	公定歩合の動き	GDP (名目/暦年)	四輪車生産台数	新ゴム消費量
……		507兆2,710億円 実質成長率：0.9%	10,975千台 前年比：6.1%	1,454千トン 前年比：2.3%